

対馬市の市制施行20周年おめでとうございます！

20年前の平成16年3月、6町が合併し対馬市が誕生しました
実は当保安部もこの市町村合併にあわせ、「厳原海上保安部」から「対馬海上保安部」
に改称しています（対馬海上保安部も改称20周年！）

当時は、海難救助の最前線で活躍する潜水士を目指す海上保安官を描いた映画「海猿」が公開、観客動員数120万人以上を記録する大ヒットとなりました
映画のキャッチコピーは「カッコつけてちゃ、命は救えない」

改めて対馬市誕生20周年となる節目の年に、対馬保安部もアフターコロナを見据え、また映画「海猿」のキャッチコピーを念頭に、美しい対馬の海の安全安心を確保するための取組を推進してまいります

最近の取り組みを紹介します。

●関係機関と沿岸海難救助訓練を実施（5月26日）

夏季の海洋レジャーシーズンに備え、対馬小型船安全協会、NPO法人長崎県水難救済会救難所などの計8機関、関係者約40名と合同訓練を行いました。

今回の訓練においては小型船を使用した海中転落者の救助訓練展示のほか、初めて島内のマリンレジャー事業者に参加いただき、カヤックやSUPを使用した救助手法が展示され、関係者の注目を集めました。

(※) 参加機関

対馬小型船安全協会、長崎県水難救済会（美津島町高浜救難所、美津島町西海救難所）
対馬エコツアー、ABYSS、あそうバイパークSUP、神話の里マリンガイドSUP
対馬海上保安部



↑ 訓練後の集合写真



↑ 漂流者をSUPで救助

マリンレジャーシーズン中に気を付けてほしいこと

ライフジャケットの常時着用
連絡手段の確保
気象海象の確認

単独行動は控え、複数人で行動しましょう！

令和6年5月 対馬海上保安部長